



## 問 認定調査員不足への対策と今後の取り組みは

要介護認定結果の待機者が非常に多くなっており、介護保険を早期に利用することが必要な市民の方々、それを受け入れる施設、ケアプランを作成する居宅介護支援事業所のケアマネジャー等、いわゆる介護現場において混乱が生じている。

待機者が増大しているのは、認定調査員の不足が理由であると考えます。今後、待機者を減らすための対策と取り組みを行うべきでは。

## 答 認定調査に遅れが出ないように、委託による調査の増加を図る

これまで認定調査は津市社会福祉協議会へ委託してきたが、更新・変更申請の認定調査は指定居宅介護支援事業所や介護保険施設等に所属する介護支援専門員に委託できることから、7つの社会福祉法人と契約し、8月から調査を実施している。

この他、指定居宅介護支援事業所や介護保険施設の運営法人と認定調査の実施に向けた協議を行い、委託による調査を増やすことで申請件数に対応できる調査体制の確保を図っていく。

今後、認定調査を理由とした要介護、要支援認定の結果の遅れが出ないように、適正かつ円滑な認定事務に努めていく。

### その他の質疑・質問

- 御殿場海岸について
- 観光資源の考えは
- 台風第7号の被害対応は
- ため池における水上設置型太陽光発電施設の設置者が自治会等の場合、占用料免除の考えは
- 電子入札の導入について
- ネーミングライツの進捗状況について など

▶  
御殿場海岸における台風第7号の被害状況



## 問 教員の人材確保のための今後の取り組みは

教育委員会は、8月8日に「『学校で働いてみませんか?』相談会」を実施した。教員免許を所持しているものの一度も学校で働いた経験のない方や、教員免許更新制が廃止されたことを認識されていない方などを対象に開催されたが、これに参加した人数と講師登録に至った人数、そして相談会を含めた今後における教員の確保に向けた取り組みに関する教育施策を問う。

## 答 教員という仕事の魅力を伝えられるよう努めていく

8月8日に実施した「『学校で働いてみませんか?』相談会」には、前後に相談に来た方も含めると34名の方にご参加いただき、相談会后、14名の方に講師登録をしていただいた。

また、教員の確保に向けた取り組みとして、将来的に教員を目指す学生を増やすため、令和5年度には三重大学の1年生約200名が現場の教員等と少人数グループで行う意見交換会の実施を計画するなど、未来を担う子どもたちを育むことの尊さや、教員という仕事の魅力を伝えられるよう努めていく。

### その他の質疑・質問

- 学校・園の保健室における給湯器およびシャワー室（シャワーユニット）の設置状況に関して
- 各学校、幼稚園、こども園での設置数は
- 具体的な有効活用例について
- 全校、園への設置の考えは
- 市県民税普通徴収・軽自動車税種別割・国民健康保険料等のキャッシュレス納付に関して など

▶  
小学校の保健室内に設置されている「シャワーユニット」。全校・園への設置が望まれる

